

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (1/6)

学部・学科	臨床心理学部・教育福祉心理学科	職名	准教授	氏名	オカモト キヨミ 岡本 浄実
学歴	平成 2年 3月 中京女子大学大学体育学部体育学科 卒業 (体育学士、第3499号) 平成 6年 3月 中京女子大学大学院健康科学研究科 修了 平成25年 3月 京都女子大学家政学研究科博士前期課程生活福祉専攻 修了				
学位	平成 6年 3月 健康科学修士 第2号 (中京女子大学) 平成25年 3月 生活福祉学修士 家修第327号 (京都女子大学)				
専門分野	健康科学、生活福祉、レクリエーション、保健体育				
専門資格	中学校教諭専修免許状 (保健体育) (平5中専第153号) 高等学校教諭専修免許状 (保健体育) (平5高専第743号) 健康運動指導士 (登録番号 : 19532110) レクリエーション・インストラクター (ID番号 : B25678) 福祉レクリエーションワーカー (ID番号 : B25678)				
所属学会	平成 4年 4月 日本体育学会 平成 4年 4月 日本学校保健学会 平成 7年 5月 日本健康運動指導士会 平成13年 4月 日本スポーツ社会学会 平成14年 4月 日本介護福祉学会 平成22年 4月 日本生活支援学会 平成24年 4月 認知症ケア学会 平成24年 4月 日本発育発達学会 平成25年10月 日本健康相談活動学会				
受賞					
担当 授業科目	学 部 ヒューマンパフォーマンスA、ヒューマンパフォーマンスB、ヒューマンパフォーマンスC、保 育表現技術 (身体表現) 幼児体育				
論文指導					
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数	
	ヒューマンパフォーマンスA	講義・演習・実習・実験	春・秋	29名	
	授業の概要 : 運動の心身への影響を体感する実習や、自分の体力に見合った運動・スポーツ を仲間と楽しく行う活動を通して、実生活における運動・スポーツや体力の重要性を理解す るとともにその実施方法について具体的に学ぶ。				
	教育活動の振り返り : 学期末評価では、平均3.4点であった。授業アンケートの3項目「熱心に取り組めた」「勉強 しやすい環境だった」「授業の満足度」について3.7点であった。また、自由記述では、「運動 が少し楽しいと感じた」「グループ活動でいろいろな事が学べてよかった」というコメントが あった。 教育活動の成果 : 今年度のグループ活動では、計画書の中に事前学習の欄を設けた。担当する種目について ネット等で事前に学びアドバイスをできるようにと課題を課した。担当した学生の中には、 見本になる図表を印刷し提示し、そのスポーツの歴史や雑学を入れて話題提供に工夫する姿 が見られた。全員が行うことはできなかったが、授業の最後に他のグループ員の感想を聞く 時間を設けたため「リーダーになるとしたら」という視点で授業に参加することができてい たと思う。 今後の課題 : 生活と運動についての演習内容を工夫したい。「運動が少し楽しいと感じた」とコメントし た学生が日常的に何か動こうと思う話題の提供に努めたい。				

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/6)

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">F D 活 動 ・ 教 育 実 績</p>	<p>・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績</p> <p>【学内】平成26年10月30日(木) 2014年度第1回FD講演会に参加 平成27年 2月19日(木) 平成26年度「地(地)の拠点整備事業(大学COC事業)」FD/SD研修会に参加 平成27年 2月25日(水) 建学の精神を学ぶ研修会に参加 平成27年 2月26日(木) 平成26年度「地(地)の拠点整備事業(大学COC事業)」FD/SD研修会に参加 平成27年 3月 5日(木) 2014年度第2回FD講演会(ループリック話題提供)に参加</p> <p>【学外】 平成26年 7月20日(日) 「社会福祉士実習演習担当教員講習会(基礎分野)」を受講し修了した。 平成26年 8月19日(火)~22日(金) 「社会福祉士実習演習担当教員講習会(演習分野)」を受講し修了した。 平成26年 9月 2日(火)~ 5日(金) 「社会福祉士実習演習担当教員講習会(実習分野)」を受講し修了した。 平成27年 1月 8日(木) 関西地区FD連絡協議会「ループリック評価入門」於：大阪大学 平成27年 1月24日(土) 大学コンソーシアム京都「2014年度京都FDe塾 カリキュラム・デザインとは何か? ~一貫性のあるカリキュラム構築を目指して~」於：キャンパスプラザ京都</p>
	<p>・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等</p> <p>平成26年 9月13日(土) 「PBLの成果報告会」於：京都産業大学 平成26年10月 2日(木) 「産業界ニーズ第4回全体会議」、於：京都産業大学むすびわざ館 平成27年 2月14日(土) 「PBLの成果報告会」於：長浜バイオ大学 平成27年 2月27日(金) 「PBL勉強会」於：キャンパスプラザ京都5階 平成27年 3月 2日(月) 「産業界ニーズ第5回全体会議」於：京都産業大学むすびわざ館</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">H26 年度 研究課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行動変容ステージを活用した健康教育に関する研究 2. 保育士の省察および園内研修に関する研究 3. 介護福祉現場における組織コミットメントに関する研究 4. 遊び・レクリエーション(福祉レクリエーション)を通じた生活課題へのアプローチに関する研究
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">平成 二 十 六 (2014) 年 度 の 研 究 活 動 の 概 要</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行動変容ステージを活用した健康教育に関する研究では、A小学校の3年間の活動の取り組みを学会発表にまとめることができた。 後述：(学会報告、学会活動)4 2. 保育士の省察および園内研修に関する研究では、5年間の研究支援の成果を2本の論文にまとめることができた。 後述：(論文)2,3 3. 介護福祉現場における組織コミットメントに関する研究では、A施設において介護職員の研修プログラムを提案し実践することができた。 4. 遊び・レクリエーション(福祉レクリエーション)を通じた生活課題へのアプローチに関する研究では、今年度は各分野で行われている「遊び」「レクリエーション」について文献の整理を行った。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主 な 研 究 成 果 等 (平成 二 十 六 年 度 の)</p>	<p>(著書)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「Chapter11 学級活動のユニバーサルデザイン」、共著(当該部分担当)平成26年9月、明治図書、亀岡正睦編著、『小学校の学びを変える! 授業と学習のユニバーサルデザイン』(pp152-157)

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/6)

平成二十六(2014)年度の主な研究成果等	<p>(論文)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「介護における省察に関する研究 ～省察を活かしたプログラムモデルの作成に向けて」、共著、平成26年9月、聖隷福祉学会研究第7号 (pp.33-39)、査読付 2. 「保育者の省察尺度の開発」、共著、平成27年2月、愛知大学地域政策学部地域政策学センター地域政策学ジャーナル第4巻2号 (pp.27-38)、査読付 3. 「保育者における省察行動と職務及び組織の満足度との関係性の検討」、共著、平成27年3月、愛知大学体育研究室 愛知大学体育学論叢第22号 (pp.39-45) 4. 「介護職における省察に関する研究 ～単純集計結果を中心に～」、共著、平成27年3月、奈良佐保短期大学研究紀要第22号 (pp.55-64)
	<p>(学会報告、学会活動)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「介護における省察に関する研究」、単独、平成26年4月、第6回日本生活支援学会全国研究大会プログラム・発表要旨集 (p.23)、岩手県立大学 2. 「省察に関する調査を用いた保育者研修プログラムの立案に関する基礎的研究」、単独、平成26年8月、日本体育学会第65回大会予稿集 (p.286)、岩手大学 3. 「介護職の省察に影響を及ぼす要因に関する研究 ～職務および組織満足度の視点から～」(ポスターセッション) 共同、平成26年10月、第22回日本介護福祉学会大会発表報告要旨集 (p.82)、日本社会事業大学 4. 「ライフスキルの獲得を目指した学校保健活動の実践報告 A小学校における3年間の取り組み」、共同、平成27年2月、日本健康相談活動学会第11回学術集会抄録集 (p.94)、愛知学院大学 5. 「健康新聞を用いた省察力に関する実践報告」、単独、平成27年3月、第21回大学教育研究フォーラム抄録集 (p.270)、京都大学
	<p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)</p>
	<p>(調査活動)</p> <p>平成26年 8月 愛知大学地域政策学部湯川研究室の協力を得てモーションキャプチャーを用いて車椅子からのベッドへの移乗の実験を行った。今後は、分析を経て介護職員の研修プログラムへの応用について検討する。</p> <p>平成27年 1月 「保育の省察尺度」を介護現場に合わせた質問紙に改定し調査を行った。調査用紙は、共同研究者の大学の倫理委員会を経て実施し分析中である。</p> <p>平成27年 3月 高齢者生きがいづくり支援事業のスタッフ研修にてアンケート調査を実施した。</p>
	<p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>平成26年度 愛知県福祉・介護人材確保対策事業 介護職員キャリアアップ支援事業 (愛知県健康福祉部地域福祉施設グループ) 研究協力者</p>
	<p>(学内活動)</p> <p>研究成果刊行助成委員会委員、海外学術研究助成委員会委員、産学協働教育推進委員会委員、保育・PSW実習委員会</p>
平成二十六(2014)年度の社会における活動	<p>(小中高との連携授業の講師)</p> <p>平成26年 7月</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 愛知県豊根村立豊根小学校 学校保健委員会児童向け講演、「作戦の立て方」、於：同校 2. 愛知県豊根村立豊根小学校 学校保健委員会保護者向け講演、「子どもの生活改善に向けた方策 ～半分だけできることが”やる気”の初めの一步～」、於：同校 <p>平成26年 9月 京都文教高等学校ALP「大学生の生活習慣とストレス ～栄養・運動・休養の関わりから～」、於：同校</p> <p>平成26年11月</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 愛知県田原市立泉小学校 学校保健委員会児童向け講演、「目の健康について考える」、於：同校 2. 長野県飯田市立上郷小学校 学校保健委員会保護者向け講演、「子どもを元気にする話 ～これから子ども達の生きる社会～」、於：同校

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/6)

<p>平成二十六年(2014)年度の社会における活動</p>	<p>(自治体や企業における研修等の講師)</p> <p>平成26年 9月 1. 愛知県新城市高齢者生きがいづくり支援事業ミニデイサービス「あじさいの会」, ボールを使った運動 2. 愛知県新城市高齢者生きがいづくり支援事業ミニデイサービス「沢の会」, 数字シートを使った脳の活性化ゲーム</p> <p>平成26年10月 愛知県華陽会職員研修、「コミュニケーション研修」</p> <p>平成27年 1月 愛知県華陽会職員研修、「コーチング研修」</p> <p>平成27年 3月 愛知県新城市高齢者生きがいづくり支援事業ミニデイサービススタッフ研修、「事業活動の講評と事業展開における評価 ～行動目標とルーブリック評価の活用」</p> <p>(その他)</p> <p>平成26年 6月 平成26年度京都文教公開講座「京都文教教養講座」・臨床心理学部テーマ:「心・体・命」講師、「元気で暮らす ～「食べる・寝る・遊ぶ」の楽しみ方と次世代への伝え方～」, 於: 京都文教大学</p>
<p>平成二十一年(2008)～二十四(2012)年度の主な研究成果等</p>	<p>(著書)</p> <p>(論文)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「愛知大学豊橋校舎新入生の体力測定および健康調査の結果について(第6報)」, 共著、平成22年3月、愛知大学体育研究室 愛知大学体育学論叢第17号 (pp.9-15) 2. 「介護過程の展開における情報収集に関する研究」, 共著、平成22年10月、財団法人日本レクリエーション協会レジャー・レクリエーション研究所 Leisure & recreation (自由時間研究) 第36号 (pp.9-16) 3. 「実習地域におけるアクティビティ実施加算の現状 ～介護過程の展開の教材づくり～」, 共著、平成22年10月、財団法人日本レクリエーション協会レジャー・レクリエーション研究所 Leisure & recreation (自由時間研究) 第36号 (pp.17-27) 4. 「T市特別支援学級野外教育への大学生の支援に関する実施報告」, 単著、平成23年3月、愛知新城大谷大学研究紀要第8号 (pp.55-60) 5. 「健康観察記録を用いた健康教育に関する考察 ～A小学校の事例から～」, 共著、平成23年3月、愛知大学体育研究室 愛知大学体育学論叢第18号 (pp.55-61) 6. 「介護過程の展開における情報収集に関する研究 ～ICFの思考過程を活用した楽しみのための外出支援～」, 共著、平成23年10月、財団法人日本レクリエーション協会レジャー・レクリエーション研究所 Leisure & recreation (自由時間研究) 第37号 (pp.53-58) 7. 「介護福祉士養成課程における介護過程とレクリエーション支援関連授業の関連性」, 共著、平成23年10月、財団法人日本レクリエーション協会レジャー・レクリエーション研究所 Leisure & recreation (自由時間研究) 第37号 (pp.3-9) 8. 「認知症グループホームにおける余暇活動第1考 ～幼児教育の場面で多用するパネルシアターを用いた回想法の試験的な取り組み～」, 共著、平成23年10月、財団法人日本レクリエーション協会レジャー・レクリエーション研究所 Leisure & recreation (自由時間研究) 第37号 (pp.9-13) 9. 「伝承遊びに関する保育士の意識に関する研究」, 単著、平成24年3月、愛知大学体育研究室 愛知大学体育学論叢第19号 (pp.25-30) 10. 「保育現場での“遊び”に関する保育者の視点とは: A市保育園における調査報告のまとめ」, 共著、平成24年3月、聖隷クリストファー大学社会福祉学部紀要第10号 (pp.29-36) 11. 「障害をもつ子どもの余暇活動の支援について」, 共著、平成24年3月、愛知新城大谷大学研究紀要第9号 (pp.17-23) 12. 「保育現場での遊びの実施状況に関する調査報告」, 単著、平成24年3月、愛知新城大谷大学研究紀要第9号 (pp.11-16) 13. 「介護職の職業継続意思に影響を及ぼす要因に関する研究」, 単著、平成25年3月、愛知大学体育学論叢第20号 (pp.17-20)

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (5/6)

(論文 つづき)

14. 「職務および生活満足度からみた介護職の職業継続に関する研究 ~ 保育職との比較からの考察 ~」、単著、平成25年3月、京都女子大学家政学研究所生活福祉学専攻発表要旨集 (pp.14-16)
15. 「事例を活用した保育士研修に関する報告 ~ 活動分析を用いた事例シートの作成 ~」、平成26年3月、愛知大学体育学論叢第21号 (pp.9-14)

(学会報告、学会活動)

1. 「レクリエーションおよびアクティビティにおける目標設定に関する現状と課題」、共同、平成21年9月、第17回日本介護福祉学会大会、文教大学
2. 「新入学生の体力測定および健康調査の経年的変化と特徴」、共同、平成21年9月、日本体育学会第60回大会、広島大学
3. 「介護福祉実習事前学習に関する考察 ~ アクティビティ実施加算の現状を通して ~」、共同、平成22年8月、第17回日本介護福祉教育学会大会、目白大学
4. 「健康教育における健康観察記録の「学びの過程」への影響に関する一考察 ~ A小学校現職教育から ~」、共同、平成22年9月、日本体育学会第61回大会、中京大学
5. 「介護過程の展開における情報収集に関する研究」、共同、平成22年9月、第18回日本介護福祉学会、岡山県立大学
6. 「家庭や地域との連携による健康づくりを目指す学校保健活動の実践のあり方に関する研究 ~ 児童生徒のテレビゲーム、パソコンや携帯電話の接触時間数との関連から ~」、共同、平成23年9月、日本体育学会第62回大会、鹿屋体育大学
7. 「メディア接触時間に対する健康教育の実践報告」、単独、平成23年11月、第58回日本学校保健学会、名古屋大学
8. 「特別養護老人ホームの介護職のケアに関する研究 ~ 「ケアの質に揺れる実態 ~」」(ポスター発表)、単独、平成24年4月、日本生活支援学会第4回研究大会、龍谷大学アバンティ響都ホール
9. 「特別養護老人ホームの介護職のケアに関する研究 ~ ケアの質に揺れる実態 ~」、単独、平成25年4月、日本生活支援学会第5回学術大会、浦和会館
10. 「保育職の職務と生活に対する満足度が職業継続意思に及ぼす影響」、共著、平成25年8月、日本体育学会第64回学術大会、立命館大学
11. 「デイサービスにおける利用者の日中の活動に関する研究」、単独、平成25年10月、日本介護福祉学会第21回学術大会、熊本大学

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)

(調査活動)

- 平成23年10月 特別養護老人ホームの介護職のケアに関する調査、於：富山県・新潟県・福井県・岐阜県・長野県
- 平成24年 2月 保育士・介護職員の職業継続意識に関する調査、於：愛知県
- 平成24年11月 介護福祉士養成課程における教授法に関する調査、於：平成24年度調査からインタビューの内諾を得た神奈川・京都の介護福祉士養成校2件
(研究代表者：中部福祉専門学校・介護福祉学科・講師 水野尚美)
- 平成25年 8月 高齢者施設における職員研修に関する調査、於：平成24年度調査からインタビューの内諾を得た大阪・愛知の特別養護老人ホーム4件
(研究代表者：同朋大学・社会福祉学部・講師 村上逸人)
- 平成26年 2月 介護現場の協働による介護職員を対象としたコミットメント及び帰属意識のリフレクシオン力育成プログラムの構築に関する調査、於：平成25年度聖隷クリストファー大学
研究代表者：聖隷クリストファー大学・社会福祉学部・准教授 野田由佳里(学内研究助成共同研究)
- 平成26年 3月 保育士の省察力が保育サービス意識に与える影響に関する調査、於：愛知県

平成二十〜二十四 (2008〜2012) 年度の主な研究成果等

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (6/6)

平成二十〜二十四 (2008〜2012) 年度の主な研究成果等	<p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>平成21年度 1. 日本レクリエーション協会 平成21年度研究助成事業「介護過程の展開における情報収集に関する研究」共同研究 2. 日本レクリエーション協会 平成21年度研究助成事業「実習地域におけるアクティビティ実施加算の現状 ~介護過程の展開の教材づくり~」共同研究</p> <p>平成22年度 1. 日本レクリエーション協会 平成22年度研究助成事業「介護過程の展開における情報収集に関する研究 ~ICFの思考過程を活用した楽しみのための外出支援~」共同研究 2. 日本レクリエーション協会 平成22年度研究助成事業「介護福祉士養成課程における介護過程とレクリエーション支援関連授業の関係性」共同研究 3. 日本レクリエーション協会 平成22年度研究助成事業「認知症グループホームにおける余暇活動 第1考 ~幼児教育の場面で多用するパネルシアターを用いた回想法の試験的な取り組み~」共同研究</p>
平成二十一〜二十五 (2009〜2013) 年度の社会における活動	<p>(学内活動)</p> <p>平成25年 4月 地域連携委員会委員「平26.3まで」 COC申請会議委員「平26.3まで」 研究成果刊行助成委員会委員「現在に至る」 海外学術研究助成委員会委員「現在に至る」</p> <p>(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の囑託)</p> <p>平成18年 4月 豊橋市地域保健推進協議会健康づくり部会委員「平22.3まで」 豊橋市地域保健推進協議会健康づくり推進委員会委員「平22.3まで」</p> <p>平成20年 6月 豊橋市生涯学習トラム推進委員会委員「平22.5まで」</p> <p>平成21年 4月 新城市次世代育成行動計画策定委員会委員長「平22.3まで」</p> <p>(小中高との連携授業の講師)</p> <p>平成25年 7月 小学校5年保健模擬授業、「めざせ 元気うんち！」、於：長野県飯田市立上郷小学校 平成25年10月 中学・高等学校キャリア教育高大連携、「食べる・寝る・遊ぶ ~健康的な生活を支える専門職の立場から~」、於：京都文教中学校・高等学校</p> <p>(自治体や企業における研修等の講師)</p> <p>平成25年 5月 豊橋市平成25年度生涯学習講座、「高齢者セミナー 健康な体作りのススメ」 於：愛知県豊橋市杉山地区市民館</p> <p>平成25年 6月 豊橋市平成25年度生涯学習講座、「高齢者セミナー 健康な体作りのススメ」 於：愛知県豊橋市老津地区市民館</p> <p>平成25年 7月 教職員研修・PTA役員研修、「めざせ・元気うんち! ~子どもの排便調査から~」、 於：長野県飯田市立上郷小学校</p> <p>平成25年10月 教職員研修・PTA役員研修 「食べる・寝る・遊ぶ ~子どもたちがこれから生きる時代~」、 於：長野県飯田市立鼎小学校</p> <p>平成26年 2月 ヘルスメイト育成教室、「これからのヘルスメイト活動で活かす ~楽しい時間のしかけ方~」、 於：愛知県蒲都市保健センター</p> <p>平成26年 3月 1. 平成25年度新城市ミニデイサービス活動報告会及びスタッフ研修、「ミニデイサービス運営における役割分担」、 於：新城文化会館 2. 平成25年度新城市保育士研修、「保育におけるチームワーク」、 於：新城文化会館</p>